

日枝神社山王祭で 4年ぶりの神輿 役員7名参加

東京証券信組

東京証券信用組合（八尾和夫理事長、本店・中央区）は6月10日、日枝神社山王祭の茅場町一丁目例大祭に八尾理事長ら役員7名が4年ぶりに神輿担ぎに参加し、地元企業や住民と交



流した。

江戸三大祭りの一つ、日枝神社山王祭は隔年6月半ばに行われる。山王祭の中心行事の「神幸祭」は二基の鳳輦（ほうれん）、一基の神輿、六隻の山車が銀座や八重洲など氏子町内を巡幸する。一昨年は中止、今回も祭典は神職・関係者のみで斎行しクライマックスの「神幸祭」は取りやめとなった。

東京証券会館玄関脇に御神酒所を設け、夕刻から一丁目大神輿の町内渡御「宵宮」が行われ、会員約180名が参加。同信組が広報活動で連携する企業「きんゆう女子。」の面々も一緒に神輿担ぎに繰り出した。

同信組が所属する茅場町一丁目町会では「歴史と伝統ある山王祭を後世に継承しよう」との声が多く、参加者を会員企業や社員に限定し、事前ワクチン接種やマスク装着を徹底することなどで「例大祭」挙行にこぎ着けた。

東京証券会館玄関脇に御神酒所を設け、夕刻から一丁目大神輿の町内渡御「宵宮」が行われ、会員約180名が参加。同信組が広報活動で連携する企業「きんゆう女子。」の面々も一緒に神輿担ぎに繰り出した。

同信組が所属する茅場町一丁目町会では「歴史と伝統ある山王祭を後世に継承しよう」との声が多く、参加者を会員企業や社員に限定し、事前ワクチン接種やマスク装着を徹底することなどで「例大祭」挙行にこぎ着けた。

東京証券会館玄関脇に御神酒所を設け、夕刻から一丁目大神輿の町内渡御「宵宮」が行われ、会員約180名が参加。同信組が広報活動で連携する企業「きんゆう女子。」の面々も一緒に神輿担ぎに繰り出した。